

あいかわ 議会だより

第187号

令和7年11月15日発行

秋の
実り
支えた
かも

- ・新しいスタート！議会役職人事決定…………… P.2・3
- ・令和6年度各会計決算を認定…………… P.4
- ・ふるさとまつり議場見学会を開催…………… P.18

〈第3回9月定例会、第2回10月臨時会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP19をご覧ください



人事決定

員会、各常任委員会など



小林 敬子 副議長



山中 正樹 議長

※議席番号順



くまさか けんたろう
熊坂 健太郎

1 期目

議席番号 4
愛川の新時代



はなうえ いさお
花上 功

1 期目

議席番号 3
愛川の新時代



かや たかゆき
茅 孝之

2 期目

議席番号 2
令和あいかわ



かや ひろむ
茅 大夢

1 期目

議席番号 1
愛川の新時代



いで かずみ
井出 一己

5 期目

議席番号 11
公明党



やまなか まさき
山中 正樹

6 期目

議席番号 10
愛川の新時代



わたなべ もと
渡辺 基

5 期目

議席番号 9
愛川の新時代

10月15日に、令和7年第2回愛川町議会臨時会が開かれました。
この臨時会では、正副議長の選挙をはじめ、議会選出監査委員、
議会運営委員会委員、各常任委員会委員の選任などを行いました。

第2回
臨時会

議長に山中 正樹氏
副議長に小林 敬子氏

◎委員長 ○副委員長（敬称略）

令和7年10月15日時点

議会運営委員会 (委員定数 7人以内)	
◎岸 上 敦 子	○茅 大 夢
熊 坂 健太郎	佐 藤 り え
鈴 木 信 一	井 上 博 明
阿 部 隆 之	

会派構成 (◎は代表者)	
愛川の 新時代	◎渡辺 基 山中 正樹 花上 功 熊坂 健太郎 茅 大夢
公明党	◎岸上 敦子 井出 一己 佐藤 りえ
日本共産党 愛川町議員団	◎鈴木 信一 井上 博明 小林 敬子
令和 あいかわ	◎阿部 隆之 小島 総一郎 茅 孝之

監査委員は、識見を有する者と議会議員の2名で構成しており、議会選出の監査委員として茅孝之議員を選任することに同意を求める議案が提出



茅 孝之 監査委員

監査委員

議会役職

正副議長、議会運営委

その他人事関係

◎厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙

申し合わせの任期満了に伴い、厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙が行われ、山中正樹議長、小林敬子副議長、井出一己議員、阿部隆之議員の4人が選出されました。

され、賛成全員で同意しました。



令和7年第2回臨時会では、議長と副議長を議員の投票による選挙で選出しました。

なお、各立候補者の所信表明演説は右記の二次元コードからご覧いただけます。



議長候補者



副議長候補者



鈴木 信一

3 期目

議席番号 8
日本共産党愛川町議員団



阿部 隆之

3 期目

議席番号 7
令和あいかわ



佐藤 りえ

4 期目

議席番号 6
公明党



岸上 敦子

3 期目

議席番号 5
公明党



井上 博明

11 期目

議席番号 14
日本共産党愛川町議員団



小林 敬子

6 期目

議席番号 13
日本共産党愛川町議員団



小島 総一郎

8 期目

議席番号 12
令和あいかわ

広報広聴常任委員会

(委員定数 8 人)

◎熊 坂 健太郎	○佐 藤 り え
茅 孝 之	花 上 功
阿 部 隆 之	鈴 木 信 一
井 出 一 己	井 上 博 明

教育民生常任委員会

(委員定数 7 人)

◎井 上 博 明	○渡 辺 基
茅 大 夢	茅 孝 之
佐 藤 り え	井 出 一 己
小 林 敬 子	

総務建設常任委員会

(委員定数 7 人)

◎阿 部 隆 之	○花 上 功
熊 坂 健太郎	岸 上 敦 子
鈴 木 信 一	山 中 正 樹
小 島 総一郎	

令和7年11月15日

2025

愛川町議会

令和7年第3回愛川町議会「9月定例会」が、9月1日から9月26日まで、会期26日間（本会議開催6日間）にわたり開催されました。令和6年度各会計の決算をはじめ、固定資産評価審査委員の選任や教育委員会委員の任命、条例、補正予算など、21件の町長提出議案、委員会提出議案1件及び議員提出議案1件について審議し、全議案を可決するとともに、1件の陳情を審議しました。

令和7年第3回愛川町議会定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
	1	月	本会議	会期の決定 陳情の委員会付託（1件） 出納検査結果報告（3件） 議員派遣（報告） 固定資産評価審査委員会委員の選任（1件） 教育委員会委員の任命（1件） 町長提出議案の説明、質疑、討論、採決 委員会提出議案の説明、質疑、討論、採決
9	2	火	本会議	一般質問（6人）
	3	水	本会議	一般質問（4人）
	9	火	本会議	補正予算議案、事件議案の個人総括質疑、討論、採決
	10	水	本会議	条例議案及び令和6年度決算議案の会派代表総括質疑 委員会分割付託の決定
	16	火	総務建設 常任委員会	付託案件の審査
	17	水	教育民生 常任委員会	付託案件の審査
	18	木	総務建設 常任委員会	付託案件の審査
	19	金	教育民生 常任委員会	付託案件の審査
	26	金	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決

令和6年度決算を認定

令和6年度 各会計決算額

会 計		歳 入	歳 出
一 般 会 計		157億3,798万8千円	151億7,454万1千円
特別会計	国民健康保険	44億8,530万1千円	44億5,565万1千円
	後期高齢者医療	7億1,530万円	6億7,415万2千円
	介護保険	36億3,390万7千円	35億5,511万4千円
企業会計	公共下水道事業	15億6,033万8千円	18億7,863万3千円
	水道事業	7億9,552万4千円	12億4,350万1千円
合 計		269億2,835万8千円	269億8,159万2千円

人事議案

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

（賛成全員）
任期満了に伴い、新たに次の方を選任することに同意したものです。
中津在住

◎教育委員会委員の任命

（賛成全員）
任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することに同意したものです。
角田在住

条例議案

◎愛川町犯罪被害者等支援条例の制定

（賛成全員）

国が定める「犯罪被害者等基本法」に基づき、犯罪被害者等の支援についての基本理念を定め、町や町民及び事業者の責務を明らかにするとともに、支援の基本となる条項を定めます。

【施行期日】
令和7年10月1日
【愛川町議会議員及び愛川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正】
（賛成全員）

「公職選挙法施行令」の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担限度額のうち、ビラやポスター作製に係る上限単価が物価の変動を鑑みて引き上げられたことから、町の選挙における公費負担限度額を引き上げるため必要の改正を行うものです。

【施行期日】
令和7年10月1日
【愛川町下水道条例の一部改正】
（賛成全員）
災害時等の円滑な復旧を目的として、他市町村長の指定を受けた下水道工事店が町内の排水設備等の工事を実施できるようにするため、必要の改正を行うものです。

【施行期日】
公布の日

機能」が設けられたこと

【施行期日】
公布の日

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

機能」が設けられたこと

◎愛川町水道事業給水条例の一部改正

(賛成全員)

「水道施行令」等が一部改正されたことに伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件が緩和されたことから、所要の改正を行うものです。

【施行期日 公布の日】

補正予算

◎令和7年度愛川町一般会計補正予算(第3号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ8,388万8千円を追加し、一般会計の総額を154億9,897万5千円としたものです。

主な内容は、各小中学校の学校給食で使用している食材費のうち、物価高騰相当額を負担するほか、带状疱疹ワクチンの定期接種と、昨年度から実施している同ワクチンの任意接種の助成において、当初の想定より接種者数の増加が見込まれる

ことから、それに係る費用について増額するものです。

◎愛川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1,025万2千円を追加し、介護保険特別会計の総額を37億2,325万2千円としたものです。

主な内容は、令和6年度概算交付された介護給付費負担金及び地域支援事業交付金の精算に伴い、超過額を返納するものです。

◎愛川町公共下水道事業会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

事件議案

◎厚木市と愛川町との一般廃棄物(可燃性一般廃棄物)の処理に関する事務委託の廃止に係る協議について

(賛成全員)

本町の可燃性一般廃棄物の焼却処理は、平成25年より厚木市に委託して

いますが、厚木愛甲環境施設組合が建設するごみ中間処理施設が令和7年12月より稼働し、今後は組合施設で焼却処理を行うことから、事務委託を廃止するものです。

【施行期日 令和7年12月1日】

◎財産の取得について

◎消防団小型動力ポンプ購入

(賛成全員)

第2分団第2部と、第3分団第3部及び第5部に配備している消防団車両の小型動力ポンプを更新します。

取得価格

833万2,500円

購入台数

3台

納入者

米山商事株式会社

納入期限

令和8年1月15日

◎町道路線の廃止

(賛成全員)

町道として管理不要となった、中津1路線及び三増1路線を廃止するものです。

■損害賠償額の決定

◎業務遂行上の過失に係る損害賠償 (賛成全員)

町道中津109号線において、職員が高所作業車を使用して街路樹の剪定作業を行っていた際に、電話線に接触して損害を与えたことから、その修理費用を負担するものです。(高所作業車に付属する自動車保険により対応)

損害賠償額

31万8,166円

委員会提出議案

◎愛川町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定 (賛成全員)

近年の社会情勢の変化に対応するとともに、住民に開かれた議会の実現を図る観点から、標準町村議会傍聴規則の一部が改正され、議場における傍聴の規定の見直しが行われたことから、同規則を基準とする本規則の改正を行ったものです。

【施行期日 公布の日】

議員提出議案

◎町長の専決事項の指定についての全部改正

(賛成12人、反対1人)

昨今、地域建設業界の厳しい経営環境を背景に、安心安全な地域づくりを支えるため、適正な利潤確保が不可欠です。近年における資材・燃料の高騰や現場状況の変化に伴う変更契約が増加する中、町発注工事の議会議決案件では、議決まで工事が一時中止され、工期や採算性に影響が生じています。

こうした問題の解決と速やかな対応を図り、住民の利便性向上にも寄与するため、町長が専決処分できる事項に、「議会の議決を経た工事又は製造の請負契約に係る契約金額の軽易な変更」を指定するため、所要の改正を行うものです。

【議決の効力 令和7年10月1日から】

個人総括質疑

補正予算・事件議案について茅孝之議員・岸上議員・茅大夢議員・渡辺議員・小林議員の5名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

犯罪被害者等支援事業費

事業費の詳細について

带状疱疹ワクチン接種事業費増額

増額の詳細について

汚水整備事業工事費増額

増額の詳細について

犯罪被害者等日常生活支援補助金

補助金額の算出根拠について

社会保険診療報酬支払基金精算返納金増額

増額の理由について

令和7年11月15日

令和6年度決算議案に対する

会派代表総括質疑

5日目の9月10日は、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

愛川の新時代

(熊坂健太郎 議員)



問

昨年度と比べて実質公債費比率が増加した理由について

町長 一般会計等が負担する元利償還金が増となったほか、償還金に充てられる特定財源が減になったことによる増加率が大きかったため。

実質公債費比率は、財政健全化法に定める財政の早期健全化や再生の必要性を判断する指標の一つであり、借入金返済が一般財源を圧迫していないかを測るものです。具体的な算出方法は、一般会計等が負担する元利償還金から、償還金に充てられる特定財源と地方交付税の基準財政需要額に算入された元利償還金を差し引いた額を分子とし、基準財政規模から基準財政需要額に算入さ

れた元利償還金を差し引いた額を分母として計算した比率で、その3年平均です。

問

消費的経費物件費が増加した理由について

6年度の単年度比率は、分子について、一般会計等が負担する元利償還金が増になったほか、償還金に充てられる特定財源が減になり、前年度比で7,600万円余り、率にして68・8%増の1億8,800万円余りとなりました。一方で、分母については、標準税収入額や普通交付税等の増などにより、前年度比で3億4,200万円余り、率にして4・1%増の87億200万円余りにとどまり、分母より分子の増加率が大きかったため、6年度の実質公債費比率は2・17%となり、3か年平均では前年度比0・6ポイント増の1・4%となったものです。

町長

学校給食費の公会計による運営事業費の皆増等や防災備蓄食料の拡充などに加え、賃金や物価の上昇が様々な経費に影響したため。

増額となった主なものは、学校給食費の公会計による運営事業費が1億1,000万円余りの皆増、新型コロナウイルスワクチン接種が定期接種となったことから、各医療機関への委託料が7,400万円余りの増となったほか、防災備蓄食料の拡充を図ったことにより防災資機材整備事業費が4,400万円余りの増となりました。

加えて、賃金や物価の上昇も様々な経費に影響し、物件費全体で前年度比1億1,600万円余り、率にして4・8%の増となりました。

(その他の質疑項目)

【町税の不納欠損額が増加した理由について】

ほか3問

公明党

(佐藤 りえ 議員)



問

自主財源の繰入金が増52・1%減の要因について

町長 財政調整基金、いのちを守る基金、公共施設整備基金など、繰入金全体で減となったため。

一般会計において、財政調整基金のほかに、いのちを守る基金や公共施設整備基金など4つの特定目的基金を設置しており、状況に応じて積立てや繰入れを行い、それぞれの目的に沿った運用をしています。

6年度の当初予算では、土地開発公社からの臨時的な精算金や町税の増収が見込まれたことから、財源不足を補填する財政調整基金からの繰入金については、前年度より2億2,800万円減の8,800万円を計上し

ましたが、その後の歳入歳出全体の執行状況の見合いの中で繰入れを行った結果、決算額では、前年度比9,400万円余り減の6,200万円余りとなりました。また、いのちを守る基金からの繰入金については、ふるさと納税分を除き、5年度に物価高騰等対策地域振興事業費等9,000万円を繰入れしましたが、6年度は新型コロナウイルスワクチン接種事業費への600万円余りの繰入れにとどまり、前年度比で8,300万円余りの減、さらに公共施設整備基金繰入金についても、充当事業費の減により、1,700万円余り減の3,800万円余りとなるなど、繰入金全体で、前年度比1億9,300万円余り、率にして52・1%の減となったものです。

(その他の質疑項目)

【諸支出金の支出済額の内容について】

ほか4問

日本共産党愛川町議員団
(鈴木 信一議員)



問 国民健康保険特別会計における財政運営上の成果と課題について

町長 法定外繰入金の減少や県支出金の特別交付金の増額など、おおむね安定した財政運営ができた。

成果としては、県の国保事業に対する市町村の分担金である事業費納付金について、医療費水準を反映させない算定方法へ段階的に移行する措置が導入されたため、被保険者数の減少と併せて、前年度と比べ9,600万円余りの減額となったことから、国から解消を求められている決算補填分を含む法定外繰入金が前年度に比べ約4,300万円減少しました。こうした状況において、保険税収入については、

現年度収納率が前年度より0・56ポイント減少したものの、1人当たりの所得額が増加したことなどにより、調定額が当初の見込みを上回ったため、滞納繰越し分と合わせて、おおむね当初の見込みどおりの収入を確保することができました。

また、そのほかの歳入では、前年度の生活習慣病の予防に向けた取り組みなどが評価され、県支出金の特別交付金が増額となるなど、2,900万円余りの実質収支額となり、おおむね安定した財政運営ができたと考えています。

一方、課題としては、被保険者数の減少に伴い、保険税収入が減収となる中で、短時間労働者に対する被用者保険の適用企業の規模要件が、現在は50人超ですが、今後はこれが35人超から段階的に10人以下へと引き下げられるため、さらに被保険者数の減少は続いていくも

のと考えています。こうした中で、県の国保運営方針では、令和18年度には県内自治体の保険料水準の統一を目指していることから、本町でも、加入者皆さんの保険税に激変が生じないように、段階的に保険税の見直しをしています。

また、国からは、令和8年度までに決算補填等を目的とした法定外繰入金の解消が求められていることから、本町でも、引き続き、保険税の収納率向上や保健事業の取り組み強化による財源確保に併せて、医療費の適正化を推し進めることで法定外繰入金の解消に努め、健全な国保財政の運営につなげていきたいと考えています。

(その他の質疑項目)
【介護保険事業運営基金の決算年度末残高が約2億5,400万円になった理由について】

ほか2問

令和あいかわ
(茅 孝之議員)



問 自主財源が前年度よりも3・2%上昇した主な要因について

町長 ふるさと納税の寄附額や工業系地域の地価上昇による固定資産税の増などにより、町税が増えたことが主な要因。

増額となった主なものとして、ふるさと納税のポータルサイトの追加や返礼品の拡充による寄附額の増や、土地開発公社からの精算金の皆増などによって、2億8,000万円余りの増となりました。そのほかに諸収入では、学校給食費の公会計による学校給食費負担金の皆増や新型コロナウイルス定期接種のワクチン確保事業助成金の皆増により、1億9,300万円余りの増となりました。また、町税では、工業

系地域の地価上昇等による固定資産税の増などにより、町税全体で1億100万円余りの増となるなど、自主財源全体では前年度比で3億900万円余り、率にして3・2%の増となりました。

問 経常収支比率が前年度より1・2ポイント減少した理由について

町長 分母となる経常的な一般財源収入のうち、地方税や地方交付税の増により、分子となる歳出の増加率を上回ったことが主な要因。

分子となる経常的に支出する経費に充当した一般財源の額については、人事院勧告に基づく給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始などにより人件費が増加したほか、国の制度改正により、障害者介護給付、訓練等の給付費や施設型の給付事業費負担金、さ

らには自立支援医療給付費などの扶助費が増加しました。

加えて、物価高や賃金の増加により物件費なども増加したことから、昨年度から3億2,400万円余り増の89億4,100万円余りとなつています。

一方で、分母となる経常的な一般財源収入については、固定資産税の増などによる地方税の増や地方交付税の増により、昨年度から4億6,200万円余り増の95億100万円余りとなり、分子となる歳出の増加率を上回ったことから、1・2ポイント減の94・1%となりました。(その他の質疑項目)
【消費的経費のうち人件費が前年度と比較し、増加となった主な要因について】

ほか1問

令和7年11月15日

討

論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛 成

愛川の新時代
花上 功議員

討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、要望を交えながら討論します。

【安定的な財政運営を評価】

決算状況を総括的に見ると、財政力指数の微減、実質公債費比率の微増という状況はあるものの実質収支比率が4・4%となったこと、経常収支比率は1・2%下がり94・1%となったことなど、全体として安定的な財政運営がされていると評価します。

また、歳入では不納欠損額が前年に比べて増加したものの、収入未済額は減少しました。町税は固定資産税の増加等により、前年に比べて1億171万2千円余り増加したほか、寄付金が2億8千55万円余り大幅に増加しました。

今後とも財政運営の健全性に向けた取り組みを期待します。

【相談件数の大幅増加を評価】

権利擁護支援センター事務委託料は、複雑・多様化する相談への対応をはじめ、高齢者を狙った消費者被害等に対する相談会の開催や町民向けの講演会の開催など、普及啓発活動を積極的に進めた結果、センター設置前と比較して、年間の相談件数が大幅に増加したことを評価します。

【児童生徒の実態に即した授業改善を評価】

小中学生学力検査業務経費については、小学校5年生及び中学校1・2年生の学びについて分析し、その分析結果から本町児童生徒の学力に関する傾向や課題、生活実態を把握することで、各校とも児童生徒の実態に即した授業改善が行われたことを評価します。

賛 成

公明党
岸上 敦子議員

討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、要望を交えながら討論します。

【避難所運営にかかる対応力や地域自主防災力の向上に評価】

令和6年度の防災訓練は、避難所運営にかかる対応力や地域自主防災力の向上を目的として、中原中学校を会場に避難所運営訓練を実施しました。こうした取り組みは、近年頻発する自然災害を見据え、町民の安心・安全を守るために不可欠です。特に給食施設を活用した訓練は、災害時に子どもから高齢者まで幅広い世代に温かい食事を届ける体制を検証し、地域住民の防災力向上につながるものと評価します。

【幼少期からの火災予防教育と防火管理の推進を評価】

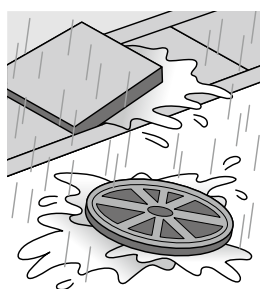
火災予防活動事業では、幼稚園や保育園への訪問、消防フェスタと共催で実施している防災教室など、楽しく学びながら火災予防の大切さや防災に触れる機会が設けられたことは非常に意義深いと考えます。また、年間を通して町内事業所の立ち入り検査や、危険物貯蔵タンク検査を実施するなど、防火管理の推進が図られたことを評価します。

【経営基盤の強化に努め、健全な事業運営に期待】

下水道事業は、町民の快適な生活環境を守り、公衆衛生や環境保全に直結する大変重要な役割を担っています。令和6年度の決算においては、総収益が増加した一方で維持管理や原価償却費などの経費が膨らみ、当年度純利益は6,206万2,749円となり、前年度と比較して約1,560万円の減額となりました。引き続き経営基盤の強化に努め、健全な事業運営を期待します。

【外国語教育のより一層の充実・推進に評価】

日本語指導を必要とする児童生徒に対し、スペイン語・ポルトガル語等のできる指導協力者を派遣し、学校教育機会の適切な確保をするともに英語指導助手を小学校に2人、中学校に1人派遣し、小中学校の国際教育及び外国語教育のより一



賛成

日本共産党愛川町議員団
鈴木 信一 議員



討論動画

後期高齢者医療特別会計決算を除き、賛成の立場で討論します。

【地方債の活用・基金の運用に評価】

地方債の活用は、後年度の財政運営に配慮し、元金償還額以内の借り入れを基本とした上で、道路などの生活インフラをはじめ、賑わい創出につながる観光・産業連携拠点づくりなど、必要な事業の財源として計画的かつ適切な活用がなされたものと評価をします。

また、基金の運用は、今後、公共施設の維持・更新に係る経費は増えることが懸念されますが、後年度の弾力的な行財政運営に資するため、公共施設整備基金を活用しつつ、残高の積み増しを行いました。さらに財政調整基金についても決算剰

余金を鑑み、公共施設整備基金とのバランスを図りながら、1億円以上の積み増しができるなど、堅実な行財政運営の手腕が見て取れ、評価します。

【保護者から信頼を得る事業を評価】

かわせみ広場事業は、小学生の放課後の居場所として、10箇所の行政区の児童館などで実施されていますが、コロナ禍以降の利用者は増加傾向にあり、子どもが安全に遊べる場所として保護者からの信頼を得ていることを評価します。



【水道の配水機能強化と維持管理を評価】

戸倉浄水場浸水対策工事により防災強化を図るとともに、耐震性の高い配管の布設替工事や漏水調査を実施するなど、配水機能強化と維持管理に努めたことを評価します。

引き続き、計画的な配水管の布設替えや漏水調査を行うとともに、使用者側の漏水の早期発見にも努めるなど、安心・安全で良質な水を需要に応じて安定的に共有できるように希望します。

賛成

令和あいかわ
阿部 隆之 議員



討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、未来への希望と意見、要望を交え討論します。

【受診率向上への努力を評価】

生活習慣病検診事業では、子宮頸がん検診が20歳から35歳まで、マンモグラフィーによる乳がん検診は41歳の方は自己負担を無料とし、受診率の向上にむけ、鋭意努力している点について高く評価します。

そこで現在、罹患数が増加している前立腺がんや大腸がん、乳がんの受診率の更なる向上と、脾臓がん検診の創設が急務と考えます。

例えば、乳がんにおいては30歳から39歳の女性を対象とした痛みの少ない乳房超音波検診の実施、大腸がんにおいては便潜血反応検査陽性者への内視鏡

検査費用の助成、前立腺がんにおいては50歳代以下の前立腺PSA検査の無償化、そして脾臓がんにおいては、家族歴・既往歴・糖尿病などハイリスク者向け腹部超音波と血液検査によるスクリーニングの実施が費用対効果の面で優れています。

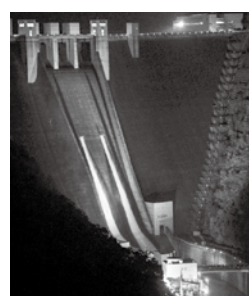
がん検診の更なる拡充を要請します。

【再設計委託の準備段階から検討するよう要請】

半原分署の長寿命化改修は、当初予定されていた令和7年度と8年度の改修事業費の継続費が廃止され、再設計委託事業費も繰り越したとなりました。施工業者の人材不足など諸事情があるのかもしれないませんが、そもそも改修で良いのか、建て替えるも視野に入れるべきではないでしょうか。個別施設計画を見直し、より長期的な視点に立った対応を、再設計委託の準備段階から検討するよう要請します。

【観光や産業振興等、経済効果の検討を要請】

宮ヶ瀬湖と言えば、町主催のイベント宮ヶ瀬ダムナイト放流が浮かびます。大変魅力的なイベントですが、来場者のほとんどは町外の方々です。そのようなイベントでは、本町への経済効果をしっかりと検証する必要があると考えます。参加人数が制限され、宿泊施設も乏しい本町では、消費が町外へ流出し、町内への回遊性が低いと言わざるを得ません。多くの職員が休日に出勤していることも含め、観光や産業振興に本当に繋がっているのか、経済効果はあるのか、11月に行われる宮ヶ瀬ダムナイト放流でしっかりと検証するよう要請します。



常任委員会での審査

令和6年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で現地調査を行い、9月16日から19日まで、各事業に対する質疑及び事務事業評価を行いました。内容の一部を紹介します。



送水ポンプの調査（戸倉浄水場）

総務建設常任委員会

7月31日に、本庁舎1階レイアウト等改善業務委託料や小沢排水区幹線水路整備工事、平山下平線（第1工区）整備工事など、7箇所の現地調査を実施しました。また、9月16日及び18日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 7/31
戸倉浄水場
浸水対策工事

【評価】

良好かつ適正に執行されている。老朽化や災害リスクに備え、引き続き着実な整備を期待する。

質疑9月16日

広報誌発行事業費

問 広報あいかわ戸別配布委託料の詳細について

新聞未購読世帯のうち、公共施設などの配架場所に取りに行くことが困難な世帯に対する補完措置として、「広報あいかわ戸別配布希望者登録制度」に基づき、希望世帯に町広報紙をポストイングしています。

令和6年度末時点の配布世帯数は205世帯で、配布に係る管理費等を合わせて、委託料の合計は15万6,272円です。

質疑9月18日

下水道事業会計業務委託契約

問 汚水管路カメラ等調査業務委託の調査結果について

重要な社会インフラである下水道の適切な維持管理を図るため、平成28年度からテレビカメラを利用した管路の点検・調査を順次進めています。令和6年度は、汚水管

議会新体制

決可決議案の内容等

会派代表総括質疑

討論

常任委員会
会派議決一覧

一般質問

一般質問
陳情等

議場見学会
議会ライブお知らせ等

1万5,170メートルの点検と、100箇所のマンホール蓋の点検を実施した結果、緊急的に修繕等が必要な箇所はありませんでした。

今後、修繕や更新を計画的に進めるためにも、引き続き点検調査を進めます。

教育民生常任委員会

8月13日に、健康プラザ外壁タイル補修工事や第1号公園体育館のトレーニングマシン・ゴムロールマット購入費、中津小学校トイレ洋式化工事、ありんこ作業所エアコン交換工事など、5箇所の現地調査を実施しました。また、9月17日及び19日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 8/13

中津公民館
クッキングルーム
エアコン設置工事

【評価】

良好かつ適正に執行されている。



クッキングルームの調査（中津公民館）

質疑9月17日

高齢者タフシー助成事業費

問 事業の成果について

バスの利用が困難になると想定される80歳以上の高齢者を対象に1枚450円の券を12枚綴りにしたタクシー利用券を助成しました。令和6年度は373人に交付し、利用券2,530枚分が活用されました。

成果は、バス助成以外の選択肢が増えたことで、対象者の健康状況や公共交通機関の利用頻度等に依拠して外出支援助成を選択できるようなりました。

た。また、助成人数も年々増加していることから、より多くの高齢者に対する外出支援の一助になったと考えています。

質疑9月19日

かわせみ広場事業費

問 事業の成果について

放課後の時間帯に、遊びを通じた地域における児童たちの交流を促進し、協調性や連帯性等を養うことを目的に「かわせみ広場」を開所しています。工作教室などのイベントの開催や町ホームページでのPRもあり、利用者数はここ数年増加傾向にあります。

利用した児童の保護者には、「大人の見守りがあるので安心」、「子どもが安全に遊べる場所があつて満足」といった好意的な意見が多く寄せられたことから、実施の意義は大きく、一定の成果がありました。

令和7年 第3回定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第51号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町長提出 第52号	教育委員会委員の任命について	同 意
町長提出 第53号	愛川町犯罪被害者等支援条例の制定について	可 決
町長提出 第54号	愛川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第55号	愛川町議会議員及び愛川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第56号	愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第57号	愛川町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第58号	愛川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第59号	令和6年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第60号	令和6年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第62号	令和6年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出 第63号	令和6年度愛川町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出 第64号	令和6年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出 第65号	令和7年度愛川町一般会計補正予算（第3号）	可 決
町長提出 第66号	令和7年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出 第67号	令和7年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出 第68号	厚木市と愛川町との一般廃棄物（可燃性一般廃棄物）の処理に関する事務委託の廃止に係る協議について	可 決
町長提出 第69号	財産の取得について（消防団小型動力ポンプ購入）	可 決
町長提出 第70号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出 第71号	損害賠償額の決定について（業務遂行上の過失に係る損害賠償）	可 決
委員会提出 第2号	愛川町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	可 決

●意見が分かれた議案

※陳情第15号については、委員長報告の「趣旨了承」に対する賛否です

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	愛川の新时代					公明党		日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ			議決結果	
		渡 辺 基	山 中 正 樹	花 上 功	熊 坂 健 太 郎	茅 大 夢	佐 藤 り え	井 出 一 己	岸 上 敦 子	鈴 木 信 一	井 上 博 明	小 林 敬 子	茅 孝 之	小 島 総 一 郎		阿 部 隆 之
町長提出 第 6 1 号	令和 6 年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	●	●	●	○	○	○	認 定
陳 情 第 1 5 号	消費税のインボイス制度の廃止を求める意見書提出の陳情	○	○	○	○	○	○		○	●	●	●	○	○	○	趣旨了承
										(採 択)						
議員提出 第 6 号	町長の専決事項の指定についての全部改正について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○	可 決

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
 なお、9月定例会の会議録は、12月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。



茅 孝之 議員 P.12

・人口減少対策について

鈴木 信一 議員 P.15

・危険木による事故を未然に防ぐ対策について ほか

井上 博明 議員 P.13

・スポーツ施設の更なる充実について ほか

茅 大夢 議員 P.15

・成年後見制度(権利擁護センター)について ほか

花上 功 議員 P.13

・森林保全について

岸上 敦子 議員 P.16

・マイナ救急について ほか

渡辺 基 議員 P.14

・防災対策について ほか

小林 敬子 議員 P.16

・包括的性教育について ほか

佐藤 りえ 議員 P.14

・自転車の安全利用について ほか

熊坂 健太郎 議員 P.17

・ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)について ほか



©愛川町

新たな人の流れ創出
 コンセプトの整備へ

総務部長 令和7年4月に、神奈川トヨタ自動車と整備に向けた基本協定を締結しました。民間の資本やブランド力を生かし、新たな人の流れを生み出すことをコンセプトに整備を進めています。

問 関係人口を創出するためには、その場だけで終わらせない継続性が必要です。そこで、水源地跡地の整備による関係人口の創出について、町の考えを伺います。

水源地跡地の整備
 関係人口の創出へ



かや 茅

たかゆき 孝之 議員



町独自でも新規就農者を支援しています

農地等の情報提供
 制度の創設を紹介

新規に就農を希望する相談者に対しては、就農までのプロセスや本町の補助制度等の支援内容について紹介するなど、継続的な取り組みを続けています。

問 農業を仕事として移住定住するIターン農家が、町でも増えています。自然豊かで水も良いことを武器にして、移住定住に繋げていくべきだと考えますが、Iターン農家に対する町の取り組みについて伺います。

農政課長 町内での新規就農者に対しては、借り受け可能な農地の情報提供をはじめ、就農初期の経営の安定を支援する国の給付制度の活用や、町独自の家賃制度の創設等に努めています。

Iターン農家の移住定住対策

令和8年度予定 助成金の獲得へ

教育長 8面のテニスコートのうち、未改修の4面については損傷が激しいことから、再整備基
本計画に基づき、令和8年度に改修する予定です。
まずはtoto助成金などの獲得に全力を挙げ
ていきたいと思っています。

第1号公園 テニスコートの芝 早期の改修を要請



いのうえ 井上



ひろあき 博明 議員

問 第1号公園のテニスコートの改修について、令和5年6月や同6年3月議会などで早期の改修を要請していますが、改めてその改修時期について伺います。

田代運動公園 バスケットコート整備の声

問 田代運動公園を利用する子供、特に中高生から、「第2号公園のようなバスケットコートを、早く田代運動公園にも造ってほしい」との声が寄せられています。そこで、田代運動公園にバスケットコートを整備する考えについて伺います。



人工芝のテニスコートの一部がはがれている状態

町長 バスケットボールは、小学生から高校生に人気が高い種目であり、田代運動公園にも設置を望む声が町にも多く届いています。周辺の居住環境に対する影響などを踏まえ、田代運動公園への設置を視野に整備を検討しています。

【その他の質問項目】

- ・町長の政治姿勢について
- ・半原水源跡地の整備事業計画について

森林資源の循環 保全への取組み



はなうえ 花上



いさお 功 議員

問 森林は、水源涵養や国土の保全等に重要であり、その機能を発揮するためには森林資源の循環が欠かせません。そこで、今後の森林保全の取り組みについて伺います。

森林機能さらに向上 所有者等と連携密に

町長 これまで県の補助金を活用した地域水源林整備等を実施しており、それにより回復した森林の機能をさらに向上させるため、県や関係団体、所有者との連携を密にし
ながら、引き続き森林保全に取り組みます。

外国資本による森林取得

問 森林法では、森林取得後に市町村長への届出が義務化されています。しかし、その法律は、取得そのものを規制する法律ではなく、外国資本による土地取得は農地法を除いて原則制限されていません。そこで、現在、国内において外国資本による森林取得の事例がどのくらいあるか伺います。



本町の森林を守りましょう

農政課長 令和6年7月時点の国の発表によると、平成18年から令和5年までの外国資本による森林取得は、25道府県で計358件、面積の合計は2,868ヘクタールとなりました。

件数の内訳は、北海道が275件、東北地方が3件、関東地方が28件、中部地方が19件、近畿地方が16件、中国地方が2件、九州・沖縄地方が15件です。

25道府県358件
北海道が275件

問 学校活動における保護者負担のさらなる軽減策について、町の考えを伺います。

答 学校活動における保護者負担のさらなる軽減策について、町の考えを伺います。

今後もニーズを捉え 勘案した施策の展開

教育長 本町では、小学生から高校生までの幅広い世代に対し、各種の支援事業を実施しています。今後もニーズを捉え、総合教育会議での意見等も勘案し、時代に求められる施策を展開することで、学校活動における保護者負担を少しでも軽減できるように努めます。

学校活動の教育費 更なる負担の軽減



すずき 鈴木

しんいち 議員



危険木による事故対策と課題

問 相模車検場付近で桜の倒木や、坂区内で立ち枯れた高木の倒木が発生しました。こうした危険木による事故を未然に防ぐ対策と、今後の課題について伺います。

答 危険木は、土地所有者等に対し、適切な維持管理を要請してはいますが、維持管理費用が高額であることに加え、責任意識の希薄化や相続登記が未了の土地もあるなど調査に時間を要し、早期の対策が困難な状況です。国・県・町がパトロールの強化を図りながら情報を共有するなど、広域的な連携による対策が必要で。

緊急の点検を実施 維持管理費が高額

町長 倒木事故を受け、町内全域のパトロールや通学路周辺の緊急点検を実施する等、立ち枯れて



通学路を塞ぎ、お墓を直撃した高木を調査する警察官と住民 (令和7年7月8日)

いる高木の有無について確認しました。

危険木は、土地所有者等に対し、適切な維持管理を要請してはいますが、維持管理費用が高額であることに加え、責任意識の希薄化や相続登記が未了の土地もあるなど調査に時間を要し、早期の対策が困難な状況です。国・県・町がパトロールの強化を図りながら情報を共有するなど、広域的な連携による対策が必要で。

成年後見制度 今後の課題展望



かや 茅

ひろむ 大夢 議員



問

団塊の世代が75歳以上となる2025年問題の今日、成年後見制度はますます重要性を増しています。中核機関となる権利擁護支援センターに関する今後の課題、展望について伺います。

多様なニーズに対応 人材確保育成が必要

町長 高齢化の進行や家族形態の変容が進む中で、後見制度の利用者はますます増えていくと推測されることから、多様なニーズに対応するための人材確保と育成がこれまでに必要となります。

外国籍児童の日本語指導

問

公立学校における日本語指導が必要な児童・生徒が急激に増加しています。そこで、外国籍児童・生徒の日本語指導に関する町の取り組みと、課題について伺います。

初期指導の集中支援 専門的指導員の配置

教育長 令和6年度から日本語がほとんど話せない児童・生徒を対象に、日本語の初期指導を集中

的に支援する日本語指導初期集中支援事業を実施しています。今後は、国際教育コーディネーターや日本語指導員の配置の必要性を感じており、国や県に対し、人的支援の要望を行っています。

指導室長 多様な言語の児童が増加しており、それらに対応できる日本語指導協力者の確保や、日本語で日本語指導ができる専門的知識やスキルを持った指導員の配置が必要です。

成年後見制度普及啓発講演会

心配を安心に！
よくわかる 成年後見制度

講師 司法書士 村山澄江事務所
村山 澄江 氏

「成年後見制度」は、知的障がいや精神障がい、認知症などにより判断能力が十分にない方でも、自分の意思が最大限尊重され、生活が実現できるよう支援する制度です。
この講演会では「今日から成年後見人になりたし」の書籍がある司法書士の村山澄江氏の成年後見制度について分かりやすくお話しします。

事前の申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

日時 **2月22日(土)** 午後1時30分～午後3時

場所 **愛川町福祉センター3階会議室**

参加 無料

主催／社会福祉法人愛川町社会福祉協議会・愛川町
社会福祉法人愛川町社会福祉協議会
愛川町愛川町角田257-1 TEL: 046-285-2111 (内線3791～3794)
http://www.shikyo-shikawa.kanagawa.jp Mail: shikyo-shikawa.kanagawa.jp

町で実施した成年後見制度の講演会



岸上 敦子 議員

要介護認定調査 内容と人員体制



問 要介護認定調査の内容と人員体制について伺います。

74項目対面で確認
新たに1名を増員

町長 調査の手法や内容は、介護保険法や国の通達等により一律の基準が設けられており、全74個のチェック項目を対面で確認し、対象者本人やその家族から聞き取り調査を実施しています。また、訪問調査員として会計年度任用職員を5名雇用するほか、7月からは新たに1名増員し、調査体制の確保に努めています。

マイナ救急の実証事業

問 令和7年10月1日から全国一斉に

開始するマイナ救急は、救急搬送時にマイナンバーカードを使って医療保険情報や受診歴などを迅速に確認できる仕組みです。医療機関との連携を円滑にし、町民の命を救うことに繋がる意義のある制度だと考えますが、町のマイナ救急の実証事業について伺います。

救急車に機器配備
10月に運行を開始

町長 本町で所有する3台全ての救急車に機器を配備し、令和7年10月から実証運行を開始すること、次年度からの本格運用に備えます。マイナ保険証の常時携帯について、町広報紙やホームページなどで周知し、効率的な運用と救命率の向上に繋がります。



総務省消防庁からのポスター



こばやし けいこ
小林 敬子 議員

高田橋際交差点 渋滞と安全確保



問 高田橋際交差点は、3つの県道が

合流するため、大型車
両の交通量も多く、交
通渋滞が発生していま
すが、渋滞の解消と交
通安全の確保に向けた
取り組みを伺います。

県は右折レーン整備
関係機関と連携図る

町長 県では、高田橋の
 拡幅に併せ、右折レーン
 の整備等の対策を実施し
 ました。引き続き、関係
 機関との連携を図りなが
 ら、交通環境の整備を促
 進し、安全で円滑な道路
 ネットワークの構築に繋
 がるよう取り組みます。

性被害から守る包括的性教育

問 子どもや青年が
大人による性被害
を受ける事案が、マス

ぶ包括的性教育は、必要不可欠な教育だと認識しています。

学校での包括的性教育は、性に関する科学的な知識を教えるだけでなく、人権、多様性、コミュニケーション、そして健全

人権など多角的視点
あらゆる教科で実施

教育長 子供や若者は、SNSなどに氾濫する不正確な性的情報にさらされており、リスクを回避

らず、他の各教科や特別活動を通じて、それぞれの特質に応じて適切に実施しています。

し、適切な意思決定を行う能力を養い、他者への尊重や同意の重要性を学んで

【その他の質問項目】
農地の適正管理について



高田橋際交差点の混雑ぶり

町長 ソーラーシェアリングの導入には設備に多額の初期投資が必要となり、少ない日照でも栽培が可能な作物に限られるなど、課題があります。したがって、農地の活用方法の一つとして、近隣自治体や県内の取組状況、効果などを参考にしながら、引き続き研究します。

農地活用方法の一つ 効果等を参考に研究

問 近年、農地での営農と発電を両立する「ソーラーシェアリング」が注目されていますが、町の考えを伺います。

営農と発電の両立 本町における考え



くまさか けんたろう
熊坂 健太郎 議員



町の魅力が満載の
本格的スマートフォン用サイト
「ポケットに愛川」

町長 専門知識を有する事業者に投稿を委託する

町職員の資質向上 登録者の増へ努力

行政情報の発信は重要であることから、登録者数を増やすための取り組みにも努力します。

問 多くの自治体でSNSを活用した情報発信が行われており、町でもそれを活用したシティプロモーションを実施しています。そこで、これまでの取り組みと今後の考えについて伺います。

SNSを活用した取り組み

ことで、SNSプロモーションの強化とこれを運用する町職員の資質向上を図っており、SNSの特性を生かしたスピード感のある情報発信や、魅力あるコンテンツの提供ができるように努めています。SNSを活用したシティプロモーションや行政情報の発信は重要であることから、登録者数を増やすための取り組みにも努力します。

●陳情（審査の結果、机上配付となったもの）

番号	受理年月日	件名	陳情者
16	R7.8.12	令和8年度における「透析患者の通院への助成」についての陳情	横浜市神奈川区台町7-2 ハイツ横浜 403号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 大竹 忍
17	R7.8.12	令和8年度における「障害者の医療費助成制度」についての陳情	横浜市神奈川区台町7-2 ハイツ横浜 403号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 大竹 忍

意見交換会

町議会では、「町民に開かれた議会」をより推進するため、町内で活動している次の団体と意見交換会を実施しました。

厚木地区私立幼稚園 協会との意見交換会

開催日

令和7年7月31日

開催場所

町役場4階会議室

テーマ

幼児教育の振興について



貴重なご意見をいただきありがとうございます。

第39回 愛川町ふるさとまつり

議場見学会を開催しました！

愛川町議会では、「より身近で開かれた議会」を推進するため、10/26(日)に『議場見学会』を開催しました。当日は、49名の方が来場され、普段はなかなか入ることのできない議場とその空気感を体験していただきました。



ええ田やなあ
愛川70周年



当日、来場された方から寄せられた感想

- ・議員さんたちと和やかに交流できて、写真も撮れて良かったです。
- ・普段は見られない場所を見て、議長席からの見晴らしを経験できました。
- ・今後も住民に開かれた議会運営に努めていただきたいと思います。

なお、いただいたご意見・ご感想については、広報広聴常任委員会で精査し、今後の広報広聴活動に活かしていきます。

研修会等参加報告

町村議会議長・
副議長研修会

■ 日付 5月27日

■ 会場

東京国際フォーラム

■ 出席議員

井出一己 議長

■ 講師

内閣府政策統括官

高橋謙司氏ほか
(防災担当)

■ 研修テーマ

「地方公共団体における防災・減災対策及び災害時の役割と総合防災情報システムの活用」ほか

委員長・副委員長・
事務局長研修会

■ 日付 8月8日

■ 会場

神奈川自治会館

■ 出席議員

熊坂健太郎 議員

鈴木信一 議員

佐藤りえ 議員

渡辺基 議員

小林敬子 議員
井上博明 議員

■ 講師

東京大学大学院
法学政治学研究科教授

金井利之氏

■ 研修テーマ

「議会改革のための
委員会活動」

町村議会広報研修会

■ 日付 8月28日

■ 会場

渋谷公会堂

■ 出席議員

鈴木信一 議員

熊坂健太郎 議員

■ 講師

福岡県大刀洗町議会

議会広報委員会委員長

平山賢治氏ほか

■ 研修テーマ

「議会活性化と連動した
広報紙づくり〜住民の政治参加を促すツールに〜」

ほか

第37回 議会クイズ



©愛川町

問1 令和7年第2回愛川町議会臨時会は何月何日に開催されたでしょうか？

- ① 8月20日 ② 9月24日 ③ 10月15日

問2 消防団小型動力ポンプを購入しますが、取得価格はいくらでしょうか？

- ① 833万2,500円 ② 8,333万2,500円 ③ 8億3,333万2,500円

問3 80歳以上の高齢者を対象に1枚450円の券を何枚綴りにしたタクシー利用券を助成しているのでしょうか？

- ① 8枚 ② 10枚 ③ 12枚

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また必ず議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 11月30日（日）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合

〒243-0392

角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合

046-286-5021

●電子メールの場合

gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインでの場合

右記の2次元コードを活用して、応募ができます。

☆正解と当選者は次号で発表します。



この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。
正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。

第36回議会クイズの
答えと当選者

前号の議会クイズの正解と
当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・①3名

問2・①3件

問3・③9月1日

《当選者》

内山美千子 様

沓澤 直也 様

榎本 香織 様

以上3名

議会だよりは、

愛川町録音ボランティア

グループ「かえでの会」

のご協力により、視覚障

がい者用にCD化されて

います。

ご希望の方は、社会福

祉協議会へご連絡くださ

い。

TEL 046・285

・2111

（内線3792）

次回定例会のお知らせ

令和7年12月定例会の日程は、左記のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

また、その運営について協議・決定する議会運営委員会は、11月21日に開催する予定です。

なお、町ホームページでも次回定例会の日程を公開しています。

令和7年 12月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (提出議案の説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
8	9	10	11	12	13	14
総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会			本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)		

あいかわ・ほっこり写真館

朝晩の冷え込みに、吐く息も白くなる季節がやってきました。
今号でも、担当する委員一人ひとりが愛川町の魅力を伝えるため、
町内を巡り写真を撮影してきました。
それぞれの写真を見て、心が「ほっこり」していただければ幸いです。



ツツジと少女



パイパイロードに実る秋



手放して上手なのよ



青空でジャンプ!



岩場って案外悪くないよ、踏まれないし。



土管からドーン!



箕輪耕地と水道坂



青空とコスモス…癒される♡



癒しの花壇

◎議会クイズは19ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第188号は、令和8年2月15日発行、
3月15日配布予定です。

編集後記

今号は、現委員が作成する最後の議会だよりとなりました。多くのみなさんが議会を身近に感じられるよう、開成町や寒川町への行政視察や研修会等で学んだことが活かされるように委員一同、全力で取り組んできました。この間、副委員長をはじめ委員皆様のご協力で委員長を務めることが出来ました。また、様々な場面において議会事務局職員による適切なサポートにも感謝しています。次号からは、私も新体制(今号3ページ参照)の下で頑張ります。2年間、ありがとうございました。

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 信一
副委員長 熊坂健太郎
委員 茅 孝之
委員 花上 功
委員 岸上 敦子
委員 佐藤 りえ
委員 阿部 隆之
委員 小林 敬子